

第3回 人材支援委員会 議事次第

今回は、各タスクフォース（TF）の平成21年度活動の総括と平成22年度計画についてご説明いただいた後、意見交換を行いました。



- ・ 若手人材育成支援 TF
 - ： 産総研「キャリアパス多様化事業」は平成21年度をもって完了し、新たなステージに移行する。今後、ジュニア世代（小中高生）への対応をどうするか。
- ・ ナノテク（グローバル）人材育成支援 TF
 - ： ナノテク人材の育成は、「ナノテクアリーナ」の中で実施していく。今後、グローバル化への対応にシフトすることを視野に入れる。
- ・ 女性研究者育成支援 TF
 - ： 男女共同参画シンポジウムの開催など、各機関の連携がとられるようになってきている。このほか、農研機構では、女性研究者支援室の設置、男女共同参画推進サイトの開設、出産・育児にかかわる女性研究者のための研究支援要員の配置などを行ってきている。
- ・ シニア人材支援 TF
 - ： OB人材講師として82人が登録し、講師28人、講座75回の派遣があった。一層の登録拡充と、活用のための仕掛けづくりを図っていく。

次に、西嶋委員の報告「ポストクのキャリアパス多様化(早稲田大での活動報告)」では、大学と研究機関が一緒に人材育成をしていかなければならないこと。博士になってからでは難しく、それまでに人を育てておかないと研究機関は厳しいことになることが指摘されました。

次に、亀山氏の報告「民間企業の研究活動に関する調査報告（平成19年度）」では、

- ・ 大学院の学生の底上げが必要であり、意識が高い学生は積極的に取り組み、成長しているが、その他の学生をどうするか。
- ・ 学生が研究機関の現場を見ることが大事。学部生の研究機関でのアルバイト、インターンシップができればいい。

などの意見がありました。

今回は、5月中旬に開催し、産業界へのアンケート調査の結果を踏まえ、TFの構成の見直し、活動内容等について検討することとしました。

日時 平成22年3月17日(水) 午後2時～午後4時30分

場所 研究交流センター 第1会議室

出席者 委員長： 二村森

(敬称略) 副委員長：井上勲、片田康行

委員： 鈴木哲也(代理：柴崎太郎)、宮本常正、西嶋昭生、門間美千子、
加藤英幸

オブザーバー：金井浩紫、野呂高樹

事務局： 亀山仁彦、矢部英雄

議事

- 1 各タスクフォースの平成21年度活動の総括と平成22年度計画」について
(加藤委員、片田副委員長、門間委員、宮本委員)
- 2 ポスドクのキャリアパス多様化(早稲田大での活動報告) (西嶋委員)
- 3 民間企業の研究活動に関する調査報告(平成19年度) (亀山氏)
- 4 平成22年度の活動計画について (二村委員長)
- 5 その他